

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

衛生環境研究所（電話：0858-35-5411）

6目 衛生環境研究所費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (雑入)	一般財源	
環境に配慮したガラスリサイクル技術及び高機能リサイクル製品の開発	6,164	2,601	3,563			13	6,151	
トータルコスト	18,266千円（前年度 8,401千円）〔正職員：1.5人 非常勤職員：1.0人〕							
主な業務内容	廃ブラウン管ガラス等のリサイクル技術及び高機能ガラスリサイクル製品の開発							
工程表の政策目標（指標）	廃棄物のリサイクルに資する研究							

事業内容の説明

1 事業の目的

廃ブラウン管ガラス等のリサイクル技術及び環境汚染物質の浄化機能を向上させた高機能ガラスリサイクル製品を開発する。

2 主な事業内容

- 廃ブラウン管ガラス等からの鉛等重金属分離技術及び環境安全性の高いリサイクル製品(発泡ガラス)の製造技術の開発
- 環境汚染物質の浄化機能を向上させた高機能ガラスリサイクル製品(発泡ガラス)の製造技術の開発

3 これまでの取組状況、改善点

- ヒ素等の溶出を抑制し安全性を確保した発泡ガラス製造技術開発は、平成20年3月に特許取得している。
- 平成23年アナログ停波に伴い大量の廃ブラウン管ガラスが発生する見込みとなり、平成21年度から鉛分離技術の予備的検証等に取り組んでいる。
- 高機能リサイクル製品の開発として、水質浄化機能を向上させた発泡ガラスの開発に取り組んでいる。

